

令和3年度 5月 人権一口講座



「シトラスリボン運動」

熊本市でも今、全国的に広がっている「シトラスリボン」に関わる運動を行っています。

「えっ？シトラスリボンって何？」と思われる方もいらっしゃると思います。愛媛県から始まった運動で、コロナウイルス感染が全国に拡大してから、「コロナ差別」と言われるさまざまな差別が報告されるようになってきました。患者となったがゆえに差別を受けられた方々、そして感謝されてしかるべき医療従事者やその家族までが辛い体験をされたと聞いています。本来はそのようなことはしてもいけないし起こってはならないのです。辛い体験をされた方々を差別したり排除したりするのではなく『温かい目や態度で「おかえり」そして「ただいま」と言えるような雰囲気を作り、みんなで見守りましょうよ！』と始まったのが「シトラスリボン運動」です。

熊本市でも人権啓発キャラクター「ラブミン」との合体バージョンを職員がデザインされ、プロジェクトとして活動を始めました。（左下の図参照）

3つのリボンの輪は「地域」「家庭」「職場（学校）」を表しています。シトラスリボンを身に着けることで感染された方を温かく見守る意思をそっと伝えることができます。

この運動は、思いやりのある暮らしやすい社会を目指す運動です。皆さんにもご理解をいただき、見守る雰囲気づくりにご協力いただけたらとても嬉しいです。

※シトラスリボンについては、市内にある市立公民館等にも情報提供資料（公民館広報誌等）があります。



（熊本市ふれあい文化センター広報紙「かけはし」令和3年度 5月号より）

短いメッセージ

やさしい言葉を言うと やさしい言葉が返ってくる
笑顔になれる やさしいバトン

熊本市・熊本市教育委員会・熊本市人権啓発市民協議会のカレンダー 泉ヶ丘小学校6年 福島千尋さん（令和2年度の作品より）